

やましん歌壇掲載歌＜第24回＞

短歌	掲載短歌	平成26年3月～平成31年4月	令和1年5月～
		H29年12月：散りもみじ甦らせて水の面は 新たな舞台漣もなし（＊）：阿部京子選 H29年12月：街中の空家の庭先山とある くらしの品の朽ちゆくが見ゆ（＊）：井上管子選	R4年5月：他人ごとと言えぬ歴史ありわが国の 百年前の言論統制：佐藤幹夫選 R4年5月：咲き匂う桜の前の老いふたり かいろう 背に漂えり偕老の日々（＊）：大滝 保選
写真短歌（＊）&共同制作の写真短歌（＊＊）	＊・・・他人の写真に自身の短歌 ＊・・・写真も短歌も自身の作品	 写真撮影地：山形市高遠城址公園 短歌：平成29年12月12日付け「やましん歌壇」掲載歌（阿部京子選） 写真撮影地：山形市 短歌：平成29年12月12日付け「やましん歌壇」掲載歌（井上管子選）	 写真撮影地：長野県伊那市高遠城址公園 短歌：令和4年5月16日付け「やましん歌壇」掲載歌（大滝 保選） 写真は日揮(株)勤務の頃に桜の景勝地で知られる高遠に出かけて撮ったお気に入り（公募展でも受賞※）の一枚です。添えた詠草もお気に入りの一首です。
作品	短歌	下記の写真短歌の短歌を含めて86首	下記の写真短歌の短歌を含めて109首（令和7年9月まで）
	写真短歌	38作品（自身の作品：37＋共同制作：1）	77作品（自身の作品：51＋共同制作：26）